

+++++

「植物と人々の博物館メールマガジン」 第35号 2017年10月15日発行

+++++

北九州の菜畑遺跡と板付遺跡を訪ねました。どのような場所に縄文晩期から弥生早期の人々が暮らしていたのか、その景観のよすがを見たかったです（写真）。太宰府天満宮も訪問し、学業上達お守りも頂き、晴天で、魚も美味しく良い小旅行でした。小菅の雑穀見本園も見学用に残っていたのですが、いよいよ寒くなり、晴れ間ができたなら収穫します。万願寺唐辛子、ひよっと、里芋などは沢山穫れ、美味しいので近所の方々にすす分けしました。

会員および配信を希望される方に「植物と人々の博物館」の公開活動ニュースなどをお送りしています。なお、自然文化誌研究会の全体の活動は「ナマステ」でお知らせしています。地方創生と大騒ぎしていても、「辺境」の地道な市民活動にはほとんど関心がもたれませんので、顔見知り信頼のクチコミで友人・知人に転送伝達していただけると嬉しいです。

〇報告

1. FAO 世界農業遺産の関連情報をお伝えするウェブページ『雑穀街道』では、雑穀街道普及会の賛同者を募っています。賛同が広がるようにどうぞ援助くださいますようお願いいたします。FAO 世界農業遺産ですから他地域や外国の方々も含めて賛同者を増やすように一層のご助力をお願いします。下記ホームページに活動の現況や関連資料を順次更新していきます。紙ベースの資料・図書は「植物と人々の博物館／森とむらの図書室」で閲覧していただけます。

<http://www.millemplac.net/milletworld/millstr.html>

2. 植物と人々の博物館の移転

農閑期になりましたら、新「植物と人々の博物館」の整備を進めます。来年にむけて、展示「多様な生業」を企画中です。

3. 守屋さんの畑から出土した縄文土器を安孫子先生に見ていただきました。4500～5000年前のものだそうです（写真）。展示解説は下記ホームページに載せます。面白いので勝手ながら、「森の畑遺跡（仮称）」と名づけて、縄文人が耕したかも知れない畑で雑穀栽培を引き継いでいきます。

〇予定

1. 作業予定日：10月18日（水）、27日（金）、11月2日（木）、11月10日（金）ほかの予定です。

移動先の植物と人々の博物館では、順次、図書・資料や民具の展示を再開しています。作業にご協力いただきたく、よろしくお願ひします。ご協力いただける方は黒澤または木俣にメールしてください。ご都合に合わせて、日程調整します。

kibi20kijin@yahoo.co.jp

2. 芋煮会を今野家主催でします。大勢の方が楽しいので、良かったらご参加ください。小菅産有機無農薬のサトイモなど提供いたします。11月12日（日）昼前後、武蔵野公園、自動車免許試験場の北側。ご連絡いただければ詳細ご案内します。

3. 「憲法に環境原則を追加する提案」についての研究会を認定 NPO 法人環境文明 21（憲法部会）が再開しました。次回は11月28日（火）午後6時（大崎）に行きます。ご興味があれば詳細をお知らせします。現在の提案書（憲法前文と第三章環境を加筆）は次のホームページで読めます。 <http://www.kanbun.org/2017/170824teigen/170824teigen.html>

4. 提案

1) 第40回環境学習セミナー（案）

話題：雑穀街道における家族農業、自給農耕、ファーマーズマーケットの楽しみと食料安全保障について、2・3人の講師をお願いして話し合いたいと考えます。日時：未定。場所：上野原市。都市農業や家族農業の文献を集めています。

2) 日本村塾ゼミ（読書会継続）

農閑期になりましたら、希望者があれば開催します。日時や場所についてもご意見、ご要望をお知らせください。

民族植物学ゼミ第5回 日時・場所：未定。

①農耕文化について学び直したいと思います。

テキスト；中尾佐助 1966、『栽培植物と農耕の起源』、岩波新書（重版あり）、再読したいロングセラーです。参考図書；同左（1967）、農業起原論、森下正明・吉良竜夫編『自然—生態学的研究』、中央公論社、所収。佐々木高明 2013、『日本文化の源流を探る』、海青社、大津。

②自然と感じ合う農耕の楽しさを語り合いたいと思います。民族植物学ゼミ第4回で出た話題を深めます。テキスト；レイチェル・カールソン（1956）、上遠恵子訳（1996）『センス・オブ・ワンダー』、新潮社。参考図書；同左（1962）、青樹築一訳（1974）『沈黙の春』、新潮社。

扶桑こくゼミ第3回 日時・場所：未定。

日本村塾で学びたい方があれば、ゼミもしたいです。

①明治維新から150年の日本の在り方を学び、考え直したいと思います。

テキスト；羽仁五郎（1956）『明治維新—現代日本の起源』、岩波書店（絶版中古有）。参考図書；原田伊織（2015）『明治維新という過ち』、毎日ワズ；西鋭夫（2016）『新説・明治維新』、ダイレクト出版；西野辰吉（1972）『秩父困民党』、講談社；森田康夫（1993）『大塩平八郎の時代—洗心洞門人の軌跡』、校倉書房。その他。

②柳田民俗学「稲作単一民族説」の瑕疵や関連して新旧憲法の比較なども話し合ってみたいです。市民が憲法について考え、提案すべきだと思います。

5. 民族植物学第11号の仮編集を11月末に向けて進めています。予定された方々のご寄稿を今しばらくお待ちしています。環境学習セミナーの報告、野生植物の利用、九州・沖縄の雑穀栽培などを準備しています。憲法に環境原則を加筆する提案について考えを深めるために、五日市憲法や環境法などを読み、第10号に続く2報原稿を書いています。

南アジア学会で発表した際に、第9号雑穀特集は30部受け取っていただきました。バックナンバーは第7号～第10号まで少しあり、希望者に差し上げます。第1号から第10号まで、すべての記事はホームページで読めます。

6. 『雑穀のインド亜大陸』は民族について学びながら、ネパール・ブータン、パキスタンおよびインド各州について、個人の現地調査の体験をまじえながら、自由に書いています。研究会に出たり、読書ばかりで原稿書きはなかなか進まないのですが、やっと第2章を近日中に未定稿として公開します。順次必要に応じて改訂していきます。同じく、『日本雑穀のむら』および『環境学習原論』も書き始めました。ともに、下記の個人ホームページから引用してくださる場合は、「木俣美樹男（2017 未定稿）」としてくださるようお願いいたします。

自然文化誌研究会（東京都日野市）：代表 中込卓男、副代表 中込貴芳（東京）、小川泰彦（埼玉）

ミュージーズ研究会／トランジション小菅（山梨県小菅村）：代表 青柳諭、副代表 亀井雄次

植物と人々の博物館（山梨県小菅村）：館長 木下善晴

日本村塾生・研究員：木俣美樹男（東京）、西村俊（石川）、藤盛礼恵（千葉）ほか

雑穀街道普及会 <http://www.milletimplic.net/milletworld/millstr.html>

事務局長：黒澤友彦（山梨県小菅村） npo-inch@wine.plala.or.jp

公式HP：自然文化誌研究会 <http://www2.plala.or.jp/npo-inch/>

植物と人々の博物館 <http://www.ppmusee.org/>

メールマガジン発行：木俣美樹男 kibi20kijin@yahoo.co.jp

個人HP：生き物の文明への黙示録 <http://www.milletimplic.net/>

写真



森の畑遺跡（仮称）の縄文土器



佐賀県唐津の菜畑遺跡



福岡県の板付遺跡

【作り方】

- 野菜類とベーコンはそれぞれの切り方、サイズにカットする。レンコンは水にさらしてアク抜きをする。
- 鍋にニンニクとオリーブオイルを入れ、ニンニクの香りがしてきたら、ニンニクを取り出し、ベーコンを炒める。
- ベーコンが少しカリカリになってきたら、野菜類を全て入れて炒める。
- 全体に油が回ったら、レッドキドニーを入れサッと炒める。
- トマトの水煮缶と水を入れて、沸騰したら弱火に落とし●の調味料を加えて30～40分程煮つめたら完成。

※盛り付け時、お好みでパセリやバルメサンダンスをトッピングしてください。

アメリカ産レッドキドニー
150g入 500円

※表示価格はすべて税抜き価格です。

全国で初めての「穀物専門店」

国内外より厳選した約350種類の穀物を品揃え。穀物より身近な食材として広めるために、キッチンスタジオを併設。「選ぶ楽しさ」「作る楽しさ」を提供できる店を目指しています。

KOKUMOTSUYA MORIMITSU

ブリヂストン通り久留米店
〒830-0022 福岡県久留米市城南町5-30
TEL 0942-36-5928 FAX 0942-36-5928
TEL **0942-36-5928**
FAX 0942-36-5938 営/10:00～18:00 定休/月



福岡市中洲の高級店の雑穀インドヒエ

庭のマイタケ（亀井さんから頂いた）